

## 1 アラビアゴム末

### 2 確認試験の項を次のように改める.

3 確認試験 本品1 gに水25 mL及び硫酸1 mLを加え、還流冷却  
4 器を付け、沸騰水浴中で60分間加熱する。冷後、無水炭酸  
5 ナトリウム2.0 gを穏やかに加え、その液1 mLにメタノール  
6 9 mLを加えてよく混和し、遠心分離し、上澄液を試料溶液  
7 とする。別にD-ガラクトース、L-アラビノース及びL-ラ  
8 ムノース-水和物10 mgずつをそれぞれ水1 mLに溶かし、  
9 メタノールを加えて10 mLとし、標準溶液(1)、標準溶液(2)  
10 及び標準溶液(3)とする。これらの液につき、薄層クロマト  
11 グラフィー〈2.03〉により試験を行う。試料溶液、標準溶液  
12 (1)、標準溶液(2)及び標準溶液(3) 2  $\mu$ Lずつを薄層クロマト  
13 グラフィー用シリカゲルを用いて調製した薄層板にスポット  
14 する。次に酢酸エチル/メタノール/酢酸(100)/水混液  
15 (12:3:3:2)を展開溶媒として約7 cm展開した後、薄層板  
16 を風乾する。これに1-ナフトール・硫酸試液を均等に噴霧  
17 し、105  $^{\circ}$ Cで2分間加熱するとき、試料溶液から得た3個の  
18 スポットは、標準溶液のD-ガラクトース、L-アラビノ  
19 ス及びL-ラムノースの各スポットと色調及び $R_f$ 値が等しい。  
20  
21